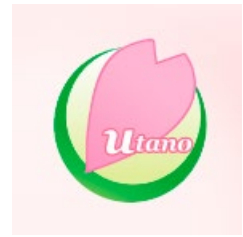


病院名 独立行政法人 国立病院機構 宇多野病院

所在地 京都市右京区鳴滝音戸山町 8



キーワード：人工関節、脊椎、脆弱性骨折、肩・手、回復期リハビリテーション

2次救急病院： ×

スタッフ： 笠原仁菜（H9）、渡邊沙織（H18）、豊島映里（H21）、安藤麻紀（H21 非常勤）



（左から） 安藤麻紀、 笠原仁菜、 豊島映里、 渡邊沙織

敷地内には50種にも及ぶ桜の木があり、病院のマークも桜の花びらになっています。



ソメイヨシノ



関山



天の川



御衣黄(ギョウコウ)

専門医、指導医の有無：

笠原仁菜：日本整形外科学会 専門医・指導医、日整会認定運動器リハビリテーション医、
日整会認定リウマチ医、小児運動器疾患指導管理医、義肢装具等適合判定医

渡邊沙織：日本整形外科学会 専門医、日整会認定運動器リハビリテーション医、
日整会認定スポーツ医

豊島映里：日本整形外科学会 専門医・指導医、日整会認定運動器リハビリテーション医、
日本小児整形外科学会認定医、小児運動器疾患指導管理医、義肢装具等適合判定医

安藤麻紀：日本整形外科学会専門医

施設認定：

日本整形外科学会認定研修施設

手術内容：

2024 年手術件数 約 200 件

内訳：人工関節 約 2.5 割、脊椎 約 1 割、手 約 1.5 割、外傷 約 3.5 割、その他 約 1.5 割

特徴：

当院は大正 9 (1920) 年に結核療養施設『京都市立宇多野療養所』として創設されました。平成 12 (2000) 年に結核病棟が廃止され、現在は、独立行政法人 国立病院機構 宇多野病院となっています。京都府難病医療拠点病院として脳・神経筋疾患、免疫性疾患を多く扱っており、遠方から通っておられる患者さんも大勢います。平成 28 (2016) 年に回復期リハビリ病棟を開棟し、365 日休まずにリハビリができるようになりました。当科では人工関節手術、脊椎手術、骨接合手術などの手術治療が必要な患者さんのほか、脊椎圧迫骨折など骨粗鬆症性骨折に対する保存治療の患者さんも、入院受け入れをしています。当院は京都市の北西にあり、嵐山に近く、四季折々風光明媚な景色がひろがり、恵まれた療養環境で治療を受けられると患者さんに喜ばれています。また京大病院からも近いので、当院で勤務しながら大学の勉強会に参加したり、困難症例を大学病院へ紹介したり、大学スタッフの先生方に当院まで手術指導に来ていただいたりすることも可能です。救急病院のように次から次へと救急患者さんが搬送される病院ではないので、急性期、周術期のみではなく、回復期から退院まで一人ひとりの患者さんにじっくり向き合って経過を診ることができるため、大変勉強になります。また、臨床研究に興味がある先生においては、全国の国立病院機構病院と連携して多施設共同の大規模研究を行うことも可能です。

当院は常勤医が約 30 人(脳神経内科医が約 20 人、他科が約 10 人)しかいない、こぢんまりした病院ですが、コメディカルを含めスタッフほぼ全員が顔見知りのため、ちょうどよいぐらいに融通がきき、手術も保存治療も他科受診相談も検査も、素早く対応できます。MRI や骨密度も当日撮れるという便利さです。医師の人数が少ないゆえに、ひとりひとりに委ねられる役割が大きく、やりがいがあります。